

ありがとうきれいな水道水

行仁小学校 三年 小瀧 さお

わたしたちは、毎日水道から出るお水をたくさんつかっています。もしも、水道からお水が出なかつたらどんなことかこまるか考えてみました。まず、朝おきて顔をあらつたりはみがきができません。トイレにも行けませんか。おりょうりも作れないしおさらやコップをあらうこともできません。水とうに入れて学校にもっていくおいしいお水をもっていき

ません。学校では、みんなで育てているトマトやお花にお水をあげられないのでかれてしまいます。体育の時間の大好きなプールにも入れません。赤ちゃんは、ミルクをのめません。みんなが手あらいやうがいができないとひょうきやウイルスもどんどん広がってしまいます。うと思います。もしも火じになつても火をけすこともできません。水道からお水が出なかつたらとてもこまります。せかいの人がたくさん生きて行けなくなってしまうと思います。

水道から出るお水はせかいのみんながしあわせに生活するためになくてはならないと思います。
ます。

わたしは、つかってよごれたお水はどこに行くかわからなかった。なので本でしらべました。つかったお水は地下にうめてある下水道かんにながれて行って、よごれた水をきれいにするしせつにはこばれて、きれいになってから川やみずうみに返していることがわかりました。きれいにするしせつは二十四時間三百六十

十五日休みなしでうごいていてよごれた水をあつめてきれいにしてしぜんに返している。知ってびっくりしました。わたしたちが見えないところですよ。いいことがおきていることを知りました。

でも、世界では水道やトイレや下水道かんがない国がたくさんあることも知りました。子どもがおもいお水をはこんだり、トイレがなかたり、よごれたお水をのまなくてはいけなくてびょうきになってしまうのです。と

てもかなしいです。

わたしたちは、とてもしあわせだと思いま
した。いつでも水道からきれいなお水が出て
つかったりの人だりできるのは、とてもあり
がたいことです。水道のお水に、あ
っありがとう。
と言いたいです。